

## 九州大学蔵抄物目録（Ⅱ）

青木，博史  
九州大学大学院博士後期課程 | 日本学術振興会特別研究員

<https://doi.org/10.15017/10360>

---

出版情報：文献探究. 36, pp.56-72, 1998-03-31. 文献探究の会  
バージョン：  
権利関係：

# 九州大学蔵抄物目録(II)

青木 博史

## 凡例

- 一 本目録は、前稿「九州大学蔵抄物目録(I)」、『文献探究』三五号(一九九七年)に続くもので、そこで取り扱わなかった、医家の抄物を集めたものである。
- 一 医家の抄物の範囲については、柳田征司「医家の抄物」『国語史への道 上』三省堂(一九八一年)で示されるそれに拠った。
- 一 書物毎の情報項目は以下の通りとした。まず、  
書名 巻数 抄者 刊写年代 冊数 所蔵者(所蔵番号)  
を示し、ついで  
表紙 外題 内題 奥書・刊記・跋文  
について記し、必要に応じて  
首目 構成 版式 行数 書き入れ 尾題 印記  
などを記した。
- 一 奥書や跋文等の引用にあたり、改行を/で示した。  
また、虫損等で解読できない箇所については□で示した。
- 一 書名は広く通用のものをとり、必ずしも九州大学における登録名とは一致しない。
- 一 柳田(一九八一)では、医家の抄物は次の三種に大別することができる。とされる。
- 第一類 特定の原典に対する注釈書
- 第二類 特定の原典をもたないもので、片仮名交りゴ体で書かれているもの、また片仮名交りゴ体の部分を含むもの
- 第三類 特定の原典をもたないけれども、病名や本草の語句を集めてそれについて説明するもの、またそのような部分を含むもの
- ここでも、この類別に従う。

第一類

医学正伝或問抄 二卷 抄者未詳 寛永一二年整版

二冊 附属図書館医学分館蔵 (イ106)

〔表紙〕 焦茶色無地 二七・四×一八・六cm 題簽剥落

〔内題〕 正伝或問抄

〔匡郭〕 四周双辺 二〇・五×一五・八cm

〔行数〕 半面一五行 〔柱書〕 或問抄

〔構成〕 上冊：医学正伝序八丁、卷上四九丁。下冊：卷

下五〇丁。

〔刊記〕 寛永十二曆九月吉旦 田原仁左衛門梓行

〔書入〕 上冊一一丁ウまで朱引きあり。

局方發揮抄 三卷 抄者未詳 寛永二〇年整版

三冊 附属図書館医学分館蔵 (未分類)

〔表紙〕 栗皮 無地 二七・二×一八・〇cm

〔外題〕 局方發揮鈔 (原題簽)

〔内題〕 局方發揮抄

〔匡郭〕 四周双辺 二一・四×一五・五cm

〔行数〕 半面一一行 〔柱書〕 局方抄

〔構成〕 上冊：局方發揮発端一丁、卷上四四丁。中冊：卷中四四丁。下冊：卷下五二丁。

〔刊記〕 寛永二十拾未<sup>癸</sup>歳中春吉辰 二條通観音町 風月宗智刊行

〔書入〕 卷上二九才まで朱引きあり。各冊裏表紙見返しに「惟聲居蔵書」とあり。

〔印記〕 各冊首に「永昌廣漢」(朱)

局方發揮抄 三卷 抄者未詳 寛永二〇年整版

三冊 附属図書館医学分館蔵 (キ186)

〔表紙〕 縹色 無地 二六・〇×一八・八cm

〔外題〕 局方發揮鈔 (原題簽)

〔書入〕 朱引きあり

〔印記〕 各冊首に「浅井氏印」(朱)

その他右に同じ

注能毒 三卷 曲直瀬道三講曲直瀬玄朔筆録 正保二年

整版 一冊 附属図書館医学分館蔵 (ノ4)

〔表紙〕 栗皮 無地 一三・八×一九・八cm

〔外題〕 能毒 蓋静翁道三 (改題簽、墨書)

〔内題〕能毒

〔匡郭〕四周双辺 一一・〇×一七・七cm

〔行数〕半面一三行 〔柱書〕能毒

〔構成〕上巻：目録一丁、本文五二丁。中巻：本文二〇丁。下巻：目録一丁、本文二〇丁。

〔奥書〕天正八年庚辰十月六日夜畢／盍静翁道三

〔刊記〕正保貳乙酉十一月吉日／二條通玉屋町／村上平

楽寺

〔備考〕巻上目録才を破損。見返しに墨書にて「題目録

□破~~ノ~~仍□破巻」とあり。巻中目録を欠く。

注能毒 三巻 曲直瀬道三講曲直瀬玄朔筆録 寛文一一

年整版 一冊 附属図書館医学分館蔵(チ91)

〔表紙〕茶色 無地 一三・三×一九・二cm

〔外題〕松会板注能毒(改題簽、墨書)

〔内題〕注能毒

〔匡郭〕四周单辺 一一・四×一七・五cm

〔行数〕半面一七行 〔版心〕巻数・丁付のみ

〔構成〕上巻：目録一丁、本文四三丁。中巻：目録一丁、

本文一六丁。下巻：目録一丁、本文一七丁。

〔刊記〕寛文拾壹歳／亥初夏吉日／松会開板

〔備考〕漢字平仮名交じり。右の正保版と同じ奥書あり。各巻目録題の下に「盍静老述玄朔校録」とあり。巻中の第一六丁が重複。

注能毒 三巻 曲直瀬道三講曲直瀬玄朔筆録 寛文一一

年整版 一冊 附属図書館医学分館蔵(チ92)

〔表紙〕薄茶色無地 一三・二×一九・五cm 題簽なし

その他右に同じ

〔備考〕巻上目録、巻中目録を欠く。

脈訣刊誤抄 六巻 抄者未詳 慶安三年整版

七冊 附属図書館医学分館蔵(ミ36)

〔表紙〕縹色 無地 二六・五×一九・四cm

〔外題〕脈訣刊誤鈔(原題簽、第七冊は題簽剥落)

〔内題〕脈訣刊誤抄

〔匡郭〕四周双辺 二〇・〇×一四・七cm

〔行数〕半面一一行 〔柱書〕刊誤抄

〔構成〕第一冊(巻一之上)三七丁、第二冊(巻一之下)

四二丁、第三冊(巻二)三一丁 第四冊(巻三)四八

丁、第五冊（巻四）三六丁、第六冊（巻五）四九丁、第七冊（巻六）四四丁

〔刊記〕慶安三~~亥~~年五月吉旦／二條通玉屋町村上平樂寺／開／板

〔備考〕富士川游『日本医学史』、『国書総目録』、そして柳田氏の諸論考にも見えないようであるが、特定の原典（『脈訣刊誤』）に対する注釈書であり、成立年を考慮しても第一類の抄物に入れてよいものと思われる。漢字片仮名交じりで、ゾ体が多い。

・史漢ノ法ニテ甫ハフトヨミ父ハホトヨムソ（巻一・一〇ウ）

・六（シウ）氣トヨムソ終氣ト書テハ勿論也五運六氣ノ六氣マキル、故ニ六（シウ）氣ト前カラヨミツケタソ仮令春宮ト書テトウグウトヨム類也（巻一・二二ウ）

・此瞳子カキラリトアレハ目カ明ナソ（巻二・九オ）  
格致余論、難經本義、察病指南、傷寒論などの医学書の他、論語や莊子（莊子~~儻~~齋口義）等を引用した注釈箇所も見られる。

・述トハ後ニ編スルヲ云ソ論語ニ述而不作ト云是也脈經ヲ重テ云故ニ述ト云ソ（巻一・一六オ）

「連用形+ゴト」の表現が見られた。

・春楊柳ヲ添テ法象ヲナシコトハ無用ソ（巻一・六二ウ）

明医雜著抄 三卷 抄者未詳 江戸中期写

一冊 附属図書館支子文庫蔵（490ミ2）

〔表紙〕栗皮 無地 二四・六×二〇・一cm

〔外題〕明医雜著抄（改題簽、墨書）

〔内題〕明医雜著 〔尾題〕明医雜著抄

〔行数〕半面一三行

〔構成〕上巻：第一丁〜第二五丁ウ2、中巻：第二五丁ウ3〜第五三丁、下巻：第五四丁〜第七四丁。

〔備考〕柳田（一九八三）で「抄者未詳明医雜著抄」として挙げられるものと同内容。梅寿刊行古活字版の巻首には「弘治十六年トハ日本ノ文龜第三ニ当ル也至慶長九年甲辰百六年歟」とあるらしいが、本抄では「弘治十五年トハ日本ノ文龜二年ニ当ル今至慶長九甲辰百二年乎」（二ウ5〜6）とあり、かなりの異同があるものと思われる。「新刊明医雜著」を「雜刊明医雜著」とする等、明らかな誤写と見られる箇所もある。

## 第二類

授蒙聖功方 二卷 曲直瀬道三抄 無刊記整版

一冊 附属図書館医学分館蔵(シ475)

〔表紙〕薄茶色無地 一三・七×一九・七cm 題簽なし

〔内題〕授蒙聖功方

〔匡郭〕四周单边 一一・〇×一七・〇cm

〔行数〕半面一三行 〔柱書〕聖功方

〔構成〕卷上目録一丁、卷上六七丁、卷下目録二丁、卷

下六一丁

〔書入〕卷上目録の各項目に「一、二、三、……」と番号を付す。卷上目録の後に「深味村／村用係／米橋龍

之助様」、下巻末にも同趣のものあり。卷上第一丁の

龍頭に「凡傷寒之脈併熱病宜洪大忌……(以下略)」

とあり。第一丁にのみ朱点・朱引きあり。

〔備考〕卷上内題の下に「一溪叟撰」、卷下尾題の下に

「一溪叟道三」とあり。もと二冊を一冊に合綴。

捷徑弁治集 曲直瀬道三抄 江戸前期写

一冊 附属図書館医学分館蔵(シ143)

〔表紙〕薄茶色 無地 二三・二×一六・七cm

〔外題〕捷徑弁治集(題簽、墨書)

〔内題〕捷徑弁治集

〔行数〕半面一〇行 〔墨付〕全二九丁

〔奥書〕此一冊戊午八月於濃島井口編集之其後／令紛告

故復為証本書焉／于時天正第五丁丑年四月廿九日／翠

升庵一溪叟道三七十一歳

〔備考〕内容は『授蒙聖功方』とほぼ同じ。

和名集并異名製劑記 二卷 曲直瀬道三抄 無刊記整版

二冊 附属図書館医学分館蔵(ワ20)

〔表紙〕薄茶色 無地 一三・一×二〇・〇cm

〔外題〕改正和名集(原題簽)

〔内題〕和名集并異名製劑記

〔匡郭〕四周双边 一〇・六×一八・五cm

〔行数〕半面一五行 〔柱書〕和名

〔構成〕上冊(上卷)三四丁、下冊(下卷)三八丁

〔跋文〕此和名集并異名製劑記之板本近／代往々雖在之

其誤繁多也故今銷／謬改字証令開板畢尤可為正本／者

也

〔書入〕上冊見返しに「和名集製方事」(墨)。下冊跋文の前に「○鋳(バウ)ヤスリナントニテオロス」(朱)。跋文の後に「(前略)五音五位之次第」、裏表紙見返しに五十音図があり、「アワヤ喉サタラナ舌力牙サ歯音ハマノニツハ唇ノ輕重」とあり。両冊とも表紙・裏表紙に落書あり。全巻にわたって朱引きあり。

和名集并異名製劑記 二卷 曲直瀬道三抄 承応二年整

版 一冊 附属図書館江崎文庫蔵(499ワ1)

〔表紙〕縹色 無地 一二・七×一八・八cm 題簽剥落

〔内題〕和名集并異名製劑記 〔尾題〕和名

〔匡郭〕四周单边 一〇・八×一七・一cm

〔行数〕半面一五行 〔柱書〕和名集

〔構成〕上卷三七丁、下卷四二丁

〔跋文〕此和名集并異名製劑記之／板本近代往々雖在之其誤／繁多也故今銷謬改字／証平仮名直今開板畢／尤可為正本者也

〔刊記〕承応二歳霜月吉日／寺町三条上ル町／山本五兵衛板

〔備考〕漢字平仮名交じり。

和名集并異名製劑記 二卷 曲直瀬道三抄 承応二年整

版 一冊 附属図書館医学分館蔵(ワ3)

〔表紙〕縹色 無地 一二・九×一九・〇cm

〔外題〕和名集(原題簽)

〔書入〕見返しに「弘化三<sup>丙</sup>午／三月大吉鳥／中村勇次」とあり。

その他右に同じ

恵徳方 三卷 曲直瀬玄朔抄 明暦三年整版

一冊 附属図書館医学分館蔵(ケ114)

〔表紙〕緑色草模様 一三・四×二〇・〇cm 題簽剥落

〔内題〕恵徳方

〔匡郭〕四周单边 一一・八×一八・八cm

〔行数〕半面一七行 〔柱書〕恵

〔構成〕目録三丁、上卷五三丁、中卷四八丁、下卷六三丁

〔刊記〕明暦三<sup>丁</sup>年初冬吉辰

〔書入〕各巻目録題・内題・尾題の「恵徳方卷之」の部分を墨にて塗り潰す。

〔備考〕本来各巻首にあるべき目録を冊首に組み入れた

ものと思われる。

日用食性・日用灸法 曲直瀬玄朔抄 正保二年整版

五冊 附属図書館医学分館蔵(ニ27)

〔表紙〕薄茶色 無地 一三・二×一〇・一cm

〔外題〕日用食性諸疾宜禁集(改題簽、墨書)

〔内題〕日用食性、食性能毒、諸疾宜禁集、日用灸法

〔匡郭〕四周单边 一一・六×八・二cm

〔行数〕半面九行 〔柱書〕食性、宜禁、日灸

〔構成〕第一冊：総目録五丁、日用食性一八丁。第二冊

：食性目録四丁、食性能毒二〇丁。第三冊：食性能毒

二九丁。第四冊：諸疾宜禁集目録一丁、諸疾宜禁集二

七丁。第五冊：日用灸法三九丁(第一三四、一三五丁

を欠く)。

〔刊記〕正保二曆三條通菱屋町 林甚右衛門

〔備考〕刊記の前に「洛下玄朔敬識」とあり。後人の手

になる墨書による総目録が「壞中食物主治禁忌録総目

録」として第一冊に存す。末尾に墨書にて「文政二己

卯七月六日撰者／和人齋氏」とあり。

日用食性・日用灸法 曲直瀬玄朔抄 承応四年整版

一冊 附属図書館医学分館蔵(ニ34)

〔表紙〕縹色 無地 一三・〇×一九・五cm 題簽剥落

〔内題〕日用食性、日用食性能毒、日用諸疾宜禁集、日

用灸法

〔匡郭〕四周单边 一一・二×一六・七cm

〔行数〕半面一六行

〔柱書〕日用食性、日用食性能毒、宜禁集、日用灸法

〔構成〕日用食性一九丁、日用食性能毒四一丁、日用諸

疾宜禁集一七丁、日用灸法二九丁

〔刊記〕承応四曆正月吉日／寺町三条上ル丁／山本五兵

衛尉開板

〔備考〕漢字平仮名交じり。

日用食性・日用灸法 曲直瀬玄朔抄 正徳二年整版

一冊 附属図書館医学分館蔵(ニ35)

〔表紙〕薄茶色 布目 一九・〇×一三・二cm (裏表紙

のみ存す)

〔内題〕日用食性、食性能毒、諸疾宜禁集、日用灸法

〔匡郭〕四周单边 一一・六×八・三cm



〔行数〕 半面九行 〔柱書〕 食性、宜禁、日灸

〔構成〕 日用食性一八丁、食性能毒五三丁、諸疾宜禁集

二八丁、日用灸法三九丁

〔刊記〕 正徳二<sub>壬辰</sub>歳孟春日銭屋茂兵衛

日用灸法 曲直瀬玄朔抄 延宝六年整版

一冊 附属図書館医学分館蔵(シ429)

〔表紙〕 薄茶色無地 一五・六×一〇・八cm 題簽なし

〔内題〕 諸疾宜禁集、日用灸法

〔匡郭〕 四周单辺 一一・五×八・四cm

〔行数〕 半面九行 〔柱書〕 宜禁、日灸

〔構成〕 諸疾宜禁集二八丁、日用灸法三九丁、跋三丁

〔跋文〕 魯書云里仁為美故聖賢立言／也必先仁矣然只人

知仁美不／知行仁于茲洛陽儒医松珀先／生質似癡鈍性

甚仁厚不好世／事独居習学特通於六經(中略)嗚呼／

誠不傷哉先生用心甚於此自／今得此書者罪毒藥所害知

良／藥所補不俟於医而全命者多／是豈仁不美耶愚跋焉

不求先／生功名所以立使知先生仁心／所以存也明曆<sub>丙申</sub>

之夏洛下／後学松哲欽書

〔刊記〕 延宝六年／午霜月吉日／下立壳通千本西へ入町

／丸屋九兵衛／開／板

日用灸法 曲直瀬玄朔抄 貞享二年整版

一冊 附属図書館医学分館蔵(二28)

〔表紙〕 薄茶色無地 一五・四×一一・三cm 題簽なし

〔内題〕 諸疾宜禁集、日用灸法

〔匡郭〕 四周单辺 一二・八×九・六cm

〔行数〕 半面一〇行

〔柱書〕 增益食性宜禁、增益灸法

〔構成〕 增益日用食性諸疾宜禁集目錄二丁、諸疾宜禁集

二三丁、日用灸法三一丁、跋三丁

〔跋文〕 右に同じ

〔刊記〕 于時貞享二<sub>乙丑</sub>年六月吉且／江戸日本橋青物町

／伏見屋兵左衛門／利倉屋喜兵衛／京柳馬場二條上町

／河内屋理兵衛／板行

増補師語録 六卷 曲直瀬道三抄後人増補力 貞享元年

整版 一冊 附属図書館医学分館蔵(シ448)

〔表紙〕 茶色 無地 一三・四×一八・八cm

〔外題〕 師語録(直接墨書)

〔内題〕 増補師語録

〔匡郭〕 四周単辺 一〇・九×一七・一 cm

〔行数〕 半面一四行 〔柱書〕 増補師

〔構成〕 目録二丁、一卷三四丁、二卷三三丁、三卷三二

丁、四卷三〇丁、五卷二八丁、六卷二四丁

〔跋文〕 此一書先生曾為小弟也雖集病／門數條藥方數品

思其繁多粗殘／略也故今病論灸方脈論藥方／補之著増

補師語録矣其辞弁／雖淺劣其意味有深秘也誠初／学之

一助而已貞享 元甲子歲／大呂上浣華陽隱医謹書

〔刊記〕 峇貞享一乙丑五月良辰 梓行／書林／江戸日本

橋通二町目／利倉屋喜兵衛梓刊

〔備考〕 本文末に「雖知苦齋道三撰」とあり。

増補師語録 六卷 曲直瀬道三抄後人増補力 貞享元年

整版 一冊 附属図書館医学分館蔵(シ449)

〔表紙〕 薄茶色無地 一三・七×一八・八 cm 題簽剥落

その他右に同じ

玄治薬方口解 岡本玄治抄 寛文四年整版

一冊 附属図書館医学分館蔵(ケ116)

〔表紙〕 縹色 無地 一三・〇×一九・二 cm 題簽剥落

〔内題〕 玄治薬方口解

〔匡郭〕 四周単辺 一一・〇×一七・六 cm

〔行数〕 半面一五行 〔柱書〕 口解

〔墨付〕 全一〇五丁

〔跋文〕 此一冊者玄治法印家之秘本也法／印平日医法不

泥古方多用新意其／臨機心変之妙不易窺測也門弟子／

随聞随記以備遺忘故文勢鄙俚語／脉重復然披読此書引

伸触類則可／得無窮之効驗覽者不以辞害志斯／可也／

住武陵医生付之割刷氏

〔刊記〕 寛文四稔<sup>辰甲</sup>正月吉且／吉野屋権兵衛開板

〔書入〕 裏表紙見返しに「播陽加古郡古宮沙門／書林／

臨海的／元禄二閏正月」と墨書。

玄治法印經驗医按 岡本玄治抄 寛政六年整版

一冊 附属図書館医学分館蔵(ケ17)

〔表紙〕 縹色 無地 一二・七×一九・〇 cm

〔外題〕 經驗医按(桃色改題簽、墨書)

〔内題〕 玄治法印經驗医按

〔匡郭〕 四周単辺 一一・〇×一七・二 cm

〔行数〕半面一三行 〔版心〕丁付のみ

〔墨付〕全一三七丁

〔刊記〕寛政六年甲寅冬十月吉／吉文字屋市兵衛版／浪

花書肆心齋橋筋／吉文字屋源十郎版

〔備考〕内容は『玄治薬方口解』と同じ。

玄治秘授口訣集 岡本玄治抄 元文三年写

一冊 附属図書館蔵（902ヶ3）

〔表紙〕赤茶色無地 二六・三×一九・八cm 題簽剥落

〔内題〕玄治秘授口訣集 〔墨付〕全八二丁

〔奥書〕玄治口訣集法印家活套而仁術一助也／珍秘而勿

令他見矣／元文三戌午／五月三日辛栄庵隸祐／玄□／

二宮勝庵丈

〔備考〕ナリ体の中にゾ体もいくらか見える。

・ 婦人帯下咳嗽潮熱ニ心ヲ付テ此方ヲ用愈タソ（六ウ）

・ 表ヲ発シ血熱ノ者ニ必用方也此方ハ発熱表証ノ者両

目赤キカ目付ソ又痘疹之初発ニ必用方也血熱ヲヨクサ

マスソ（一一ウ、一二オ）

・ 是ハ医王ノ飯ヲ去テ木ヲ入タソ（二五ウ）

『国書総目録』では、九大のみに存するとされる。

家伝預葉集 岡本玄治抄 寛文六年整版

一冊 附属図書館医学分館蔵（カ156）

〔表紙〕縹色 無地 一三・四×一八・七cm

〔外題〕家伝預葉集（改題簽、墨書）

〔内題〕家伝預葉集

〔匡郭〕四周单边 一一・三×一六・八cm

〔行数〕半面一四行 〔柱書〕預葉集

〔墨付〕全七九丁

〔刊記〕寛文六丙午歳／九月吉日平田長左衛門／開板之

〔備考〕ほぼ漢文体。片仮名交じりゾ体稀にあり。朱点、

朱引きあり。

家伝預葉集 岡本玄治抄 寛文一一年整版

一冊 附属図書館医学分館蔵（カ155）

〔表紙〕焦茶色 無地 一三・〇×一八・九cm

〔外題〕<sup>冷</sup>家伝預葉集（原題簽）

〔内題〕版式・墨付〕右に同じ

〔刊記〕寛文拾一年／辛亥五月吉且／南華堂開板

〔備考〕遊び紙に「枇杷葉湯」「霍香正気散」等と墨書。

裏表紙見返しに花押あり。

灯下集 岡本玄治抄 江戸前期写

一冊 附属図書館医学分館蔵(ト107)

〔表紙〕黄土色 はげ目 二八・六×一九・六cm 中央  
に「医籍」と墨書。

〔外題〕灯下集(改題簽、墨書)

〔内題〕灯下集(目錄題)

〔序文〕門下定前書／一秘方秘書配劑并口伝心術等子孫  
之外不可相伝但懇／望之断有之者可随其時宜事／附以  
断許相伝之儀如此定以誓約可伝之并門弟／之面々医  
術相統之輩無之者秘方秘書配劑等可令／迅附也／一与  
他医不可合盟事／一為師弟之儀到互之子孫不可違之若  
属他家族於有之／速可改返之不可及異儀事／寛永十五  
戊寅年七月日 啓迪院在判／右三ヶ條之式法堅可持其  
旨者也若於相背者／日本国中大小補祇殊氏補藥師十二  
補將各蒙御罰医／道之冥助不可有之仍誓詞如件

〔墨付〕全五九丁

日用功方 四卷 岡本玄治抄 享保六年整版

一冊 附属図書館医学分館蔵(ニ24)

〔表紙〕薄茶色 木目 一三・〇×一九・一cm

〔外題〕日用功方(改題簽、墨書)

〔内題〕日用功方

〔匡郭〕四周单边 一一・二×一七・五cm

〔行数〕半面一四行 〔柱書〕功方

〔構成〕一卷三五丁、二卷三四丁、三卷三六丁、四卷三  
六丁。各卷首に目錄一丁あり。

〔刊記〕享保六辛丑孟春吉 大坂書林

〔備考〕内題の下に「増補灯下集／啓迪院」とあり。

新添修治纂要 五卷 抄者未詳 正保三年整版

二冊 附属図書館医学分館蔵(シ479)

〔表紙〕赤茶色 はげ目 一三・二×一九・五cm

〔外題〕新添修治纂要(改題簽、墨書)

〔内題〕新添修治纂要

〔匡郭〕四周单边 一一・四×一七・四cm

〔行数〕半面一四行 〔柱書〕纂要

〔構成〕上冊：一卷三四丁、二卷四一丁。下冊：三卷三  
七丁、四卷二三四丁、五卷二七丁。

〔刊記〕正保三年<sup>丙戌</sup>三伏吉日上村次郎右衛門開板

〔備考〕上冊表紙に「乾自一至二／草部／……」、下冊

表紙に「坤自三至五／菓部木部／……」等と墨書。

増補能毒 三卷 長沢道寿編 万治二年整版

一冊 附属図書館医学分館蔵（ノ3）

〔表紙〕薄茶色 はげ目 一三・二×一九・五cm 題簽なし

〔内題〕増補能毒

〔匡郭〕四周双辺 一一・一×一七・六cm

〔行数〕半面一五行 〔柱書〕能毒

〔構成〕上卷三二丁、中卷三七丁、下卷二三丁

〔刊記〕万治貳稔正月吉祥／開板／二條通玉屋町村上平

楽寺

〔備考〕上巻の目録（第一丁にあたる）を欠く。各巻内題の下に「土佐道寿編集」とあり。漢字片仮名交じりで、ゾ体の部分多い。

### 第三類

仮名能毒 曲直瀬道三抄カ 写年未詳

一冊 附属図書館医学分館蔵（カ75）

〔表紙〕縹色 無地 二四・三×一九・〇cm 題簽剥落

〔内題〕仮名能毒

〔行数〕半面九行 〔墨付〕全二四丁

〔備考〕漢字平仮名交じり。『注能毒』（第一類）とは内容を異にする。『国書総目録』では、九大のみに存するとされ、曲直瀬道三著とされる。

仮名能毒 曲直瀬道三抄カ 寛永六年写カ

一冊 附属図書館医学分館蔵（カ76）

〔表紙〕紺色 無地 一三・二×一九・七cm

〔外題〕仮名能毒（朱色題簽、墨書）

〔内題〕仮名能毒

〔行数〕半面九行 〔墨付〕全四五丁

〔奥書〕末尾に「昔寛己巳孟春下澣□書」とあり。

〔備考〕漢字平仮名交じり。右の本（カ75）と同内容であるが、両本間の異同はかなり多く、専ら「カ75本」が「カ76本」を省略した形で記される。

・一 陳皮 みつかんのかわ也久敷を用うらの筋を去刻用（カ75本・冒頭）

・陳皮 みつかんのかわなりひさしきをもちゆ痰（た

ん)をさるにはうらのすちをさりきさみあふりて用中  
(うち)をまし気(き)をおきなふにはうらをさらすいり  
て用也(カ76本・冒頭)

### 参考文献

倉野嗣久(一九八一)「土井先生蔵『日用月用能毒之捷徑』

について」『国語史への道 下』三省堂

佐藤亨(一九八〇)「国語資料としての『玄治薬方口解』」

『新潟大学国文学会誌』二二三

鈴木博(一九七二)『周易抄の国語学的研究』清文堂

——(一九七六)「医学の抄物二三——一栢・道器・玄

朔——」『国語国文』四五・六

——(一九七七)「医方大成論抄における用語の違いに

ついて」『国語学』一一一

土井洋一(一九七四)「本能寺門前版の版式——毛詩抄を

めぐって——」『学習院大学文学部研究年報』二〇

——(一九八一)「和名集并異名製剤記」『国語史へ

の道 下』三省堂

柳田征司(一九八〇)「医家の抄物(一斑)」『近代語研

究第六集』武蔵野書院

——(一九八一)「医家の抄物」『国語史への道 上』

三省堂

——(一九八二)『曲直瀬道三類証弁異全九集』勉誠

社

——(一九八二)「医家の抄物(第二類追補)」『愛

媛大学教育学部紀要第II部・人文社会科学』一四

——(一九八三)「医家の抄物(第一類追補)」『愛

媛大学教育学部紀要第II部・人文社会科学』一五

### 付記

本稿は医家の手になる抄物の目録稿であり、前稿「九州大学蔵抄物目録(I)」と合わせることで、九州大学蔵の抄物目録は一応の完成を見ることになる。ただしこの他、柳田征司氏によって「書入れ仮名抄」(「書込み仮名抄」とも)と称されている一連の抄物群の存在がある。

この抄物群については意図的に調査することを怠っているが、調査の段階で目に触れたものを、ここに記しておくこととする。しかしながら、これらの書入れが何に拠ったものなのか、或いはいつ頃、何人によってなされた

ものなのか等、今後の調査にまつところも多い。なお、「書入れ仮名抄」については、柳田氏に以下の諸論考がある。

「国語資料としての『書込み仮名抄』」「武蔵野文学」

二四

「書込み仮名抄一斑」『愛媛大学教育学部紀要第II部

人文・社会科学』九

「書入れ仮名抄一斑・追補」『愛媛国文と教育』一一

「書入れ仮名抄再補(漢籍)」「抄物の研究』五

○医方大成論 孫允賢撰 江戸前期整版

一冊 附属図書館蔵(902イ8)

〔表紙〕薄茶色無地 二五・二×一八・一cm 題簽剥落

〔内題〕医方大成論

〔匡郭〕四周单边 二〇・三×一六・三cm

〔行数〕半面一行 〔墨付〕全五二丁

〔刊記〕京師三條通升屋町／御書物所 出雲寺和泉掾

〔書入〕仮名抄は前半部にのみ見られる。

・人ノ病氣アルハ決シテ知ル内傷ナニソ八九二居事ヲ

其風寒暑湿等ノ外傷ヲ受ルヤ多ク内傷体虚ノ後外邪虚

ニ乗シテ入タ、タ不知不識ノ内イツトナクスコシツ、

□立スシテ傷損スルハ氣ノ付ヌユヘニ外邪ト斗リ思ヘ

ルニ若キ□□摂理ヲヨクセサレハイツトナク損シテ後

ハ外邪ヲモ引入テ天年ヲ失シ死ニ至ルニツ、シムヘシ

戒ムヘシ(一ウゝ二オ)

・四肢云々バツタリトナツテ自持スル事能ハサル也

(五オ)

○医学指南篇 三卷 曲直瀬道三撰 寛永八年整版

一冊 附属図書館医学分館蔵(シ91)

〔表紙〕栗皮 無地 二七・五×一九・五cm

〔外題〕十五指南篇(改題簽、墨書)

〔内題〕十五指南篇 〔柱書〕医指

〔匡郭〕四周双边 二〇・二×一六・九cm

〔構成〕上卷二五丁(うち目録一丁)、中卷三七丁、下

卷三三丁

〔刊記〕寛永辛未暮春吉旦／中野市右衛門梓行

〔書入〕全卷にわたって墨・朱による書入れ、及び朱引

きあり。主として漢文注であるが、片仮名交じりでの

注釈箇所も見られ、ゾ体も稀に見られる。

・従天形ヲウクルヲ稟ト云父母ヨリ元氣ヲウクルヲ受ト云(上一〇才)

・許学微力事後翰林学士ノ官ニ進タソ(上一五才)

・声称ハ色ナリ虚言偽ルソ(下二六才、以上墨筆)

・胃ニ食滿レハ胃ヘヲサマラス食ニ押ヘラレテ骨髓ヘ走ルソ(下三三才、朱筆)

○格致余論 朱彦修撰 慶安二年整版

一冊 附属図書館医学分館蔵(カ72)

〔表紙〕縹色 無地 二七・〇×一九・八cm

〔外題〕格致余論(改題簽、墨書)

〔内題〕格致余論

〔匡郭〕四周双辺 一八・五×一二・五cm

〔行数〕半面一〇行

〔構成〕序三丁、目録二丁、本文五八丁

〔刊記〕慶安二己丑仲秋吉辰

〔書入〕全卷にわたって墨・朱による書入れあり。

・余ハ緒余ノ余ト見ヘキ歟莊子土査緒余ト云時ハ物ノ

アマリノキレクツナト、云類ソ(序一才)

・洋ハ口義海中也トシタソキハメモナイ貌ヲ云ソ(序

一才)

・遺ノ字イユイヘイ三音アリ隋ノ音ハ從(シタカフ)ト

ヨム各別ナリノコスヲクルトヨムトキハ古人ノ沙汰ニ

ハユイ音ヲ用タソ所謂遺教経或ハ遺教流布之地或ハ人

ノ末後ニ言ヲノコスヲ一ナト、云ソ韻会ニモ以醉切

ハ贈也周礼遺人謂以物有所贈遺也トシタソ韻府ニ又張

良伝養虎遺患ト云トキモ以醉切之ユイノ音也サテ又ワ

スル、失ナウナトノトキハイノ音トイワレタソ当時学

道達ノ沙汰ハノコスワスル、モトモニノ音ニヨミテ

無害トイワル、ソ(本文二才)

○察病指南 三卷 施發政撰 寛永二一年整版

一冊 附属図書館医学分館蔵(サ21)

〔表紙〕薄茶色無地 二七・五×一八・一cm 題簽なし

〔内題〕察病指南

〔匡郭〕四周双辺 一七・〇×一五・二cm

〔行数〕半面一一行

〔構成〕序三丁、目録二丁、卷上一二丁、卷中一七丁、

卷下一八丁

〔刊記〕寛永廿一年甲申卯月吉日／開板



〔書入〕二種類の手になる書入れ注あり。ナリ体の中に  
ゾ体も見える。

・ 察病者病ヲ察スル也指南者南ニ指ストヨムヲシヤク  
ノ頭者南エ行ク南ヲシレハ東西ヲ知ル故分明ナ所ヲ知  
ルト云心也（序二オ）

・ 心之蔵エ外形入ト云事者ナイソ是心包絡エ入事也心  
之蔵へ入レハ朝發夕ニ死ソ（上二ウ）

・ 五行勝テ復トハ仮令へハ（中略）五行皆如此勝ハ必  
ス復スルソ如此復シテ行ケハ五行力不残ヲ勝復シテハ  
テヌ者ソ故死スルソ（下七ウ）

○切紙 曲直瀬道三撰 江戸前期写

一冊 附属図書館医学分館蔵（キ53）

〔表紙〕薄茶色無地 二五・九×一九・一cm 題簽なし

〔墨付〕全四五丁

〔奥書〕「元龜第二~~辛~~年九月 雖知苦戸 道三在判」の

類数カ所にある。

〔書入〕全巻にわたって朱点・朱引きあり。仮名抄は第  
三丁才まで。

・ タトへハアマリヤマイモナキ人カ薬ヲカウニ利ヨク

ニカ、リテ薬ヲノマスナソアゲクヤマイヲマスソ（二  
オ）

・ 虫ハ朔日ヨリ十日マテカシラヲ上へノホリ頭ニナル  
也十日ヨリ下へハ尾ヲ上ニナシテツラヲ下へムケテヲ  
ル也（二ウ）

○江湖風月集略註 二巻 抄者未詳 刊年不明古活字版

二冊 文学部蔵（国文11・36）

〔表紙〕焦茶色 無地 二八・〇×一九・七cm

〔外題〕江湖風月集略註（改題簽、墨書）

〔内題〕新編江湖風月集略註

〔匡郭〕四周双辺 一九・七×一六・〇cm

〔行数〕半面九行（大字）

〔構成〕上冊（上巻）七二丁、下冊（下巻）七一丁

〔書入〕全巻にわたって複数の手になる朱・墨による書  
き入れあり。朱点・朱引きあり。主として漢文注であ  
るが、片仮名交じりゾ体も稀に見られる。

・ 等分トハ等分煩悩ノ事ソ貪嗔痴ヲ一二ニ合テ等分煩  
悩ト云ソ譬ハ人参甘草ヲ合テ銘ヲナニトソ書ノ心ソ

（上九ウ）

・無知音ソ我ハ如此見ソナニトナレハ行卷ノ活句新鮮  
ナレハ春風カ此行卷ノ中へ百花毬ヲ攢上セタ如クナソ  
(下三三才)

・諸山ヲ云ソ十方カ仰山ソ何レノ山ニモ雲集ルソ仰山  
ニカキラヌソ(下五二才)

○職原抄 二卷 北畠親房撰清原秀賢校 無刊記整版

二冊 附属図書館蔵(205シ35)

〔表紙〕 縹色 無地 二八・三×一九・九cm

〔外題〕 職原抄(改題簽、墨書)

〔内題〕 職原抄

〔匡郭〕 四周双辺 二〇・七×一六・〇cm

〔行数〕 半面八行

〔構成〕 上冊：上卷四六丁。下冊：下卷四八丁、補遺二  
一丁。

〔跋文〕 末尾に「于昔慶長戊申夏四月蚯蚓出日／吏部少  
卿清原秀賢誌」とあり。

〔書入〕 全巻にわたって墨・朱による書入れ、および朱  
引きあり。各冊尾に「中村泰輔」と墨書。仮名抄は上  
冊第一丁に見られるのみ。

・位ニ依テ冠カ替ルソ階ハキザハシ也段々ニ次第ノ有  
ル処ヲ云ソ(一才行間)

・八省ハ顧ト云也八所ニ省ヲ置キ給テ人之善悪ヲ計ル  
ソ禁中ナト、云モ禁ヲイマシムトヨム其意同也所謂八  
省ハ中務省治部省民部省兵部省刑部省大藏省宮内省是  
也其省其省ニ依テ役々ガ替ルソ役職ノ□ハ奥マテ知ル  
ソ(一才鼈頭)

## 追記

前稿および本稿に必要な資料の閲覧にあたって、中央  
図書館・医学図書館・文学部図書室・医学部法医学教室  
・医学部衛生学教室の関係者の方々にご芳情を賜った。  
記して心より感謝申し上げます。

なお、本研究は、日本学術振興会の研究助成および平  
成九年度文部省科学研究費補助金(特別研究員奨励費)  
による研究成果の一部である。

——九州大学大学院博士後期課程・

日本学術振興会特別研究員——